

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	89,416	74,697	14,719

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額					
1 材料費	2,308					
(1 事業目的・内容)						
<p>【概要】 あざみ野～湘南台間32駅、40.4kmの鉄道用通信設備の保守材料等の購入</p> <p>【目的】 通信設備の機能の維持</p> <p>【課題・目標】 新規設備導入により必要な材料の種類も増えているが、適切な在庫管理と共通化を図り在庫数量を抑える</p> <p>【購入する物品】 ・ 電話機、インターホン等、各種通信機器 ・ ケーブル、配管等の工食用部材 ほか、通信設備の運用、保守に必要な機器、材料</p>						
(2 前年度から変更・見直した点) なし						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 信号通信設備整備心得						
(4 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,749	2,308	2,308	2,308	2,308	10,981
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
2 光ネットワーク、電話交換機、一斉発信装置保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】
ブルーラインに設置している通信設備(光LAN・バックボーン・総合設備ネットワーク・電話交換機・一斉FAX装置・一斉発信装置等)の検査・オンコール保守を行います。

【目的】
検査による設備の故障予防と長寿命化、オンコール保守による迅速な障害対応の確保

【詳細】

- 1 光LAN・バックボーン
 - (1) 用途
誘導無線・指令電話・自営PHS等の各種情報を伝送する設備
 - (2) 構成
中央装置(総合司令所)、駅装置(各駅、車両基地、本庁ビル)
- 2 総合設備ネットワーク
 - (1) 用途
早期地震警報システム・案内表示器・在線表示器・地震計
 - (2) 構成
中央装置(総合司令所)、駅装置(各駅、車両基地、本庁ビル)
- 3 交換機・一斉発信装置
 - (1) 用途
鉄道電話・自営PHS・一斉FAX・一斉通報機能による総合司令所からの業務連絡
 - (2) 構成
交換機(戸塚駅・関内駅・センター北駅・新羽車両基地)
一斉FAX装置(関内駅)
一斉通報装置(総合司令所)
PHS制御ユニット(各駅)

【内訳】

単位:千円

項目	数量	単位	金額	備考
検査				
光LAN・バックボーン 検査	1	式		
総合設備ネットワーク 検査	1	式		
交換機・一斉発信装置 検査	1	式		
その他				
ビル点検(停電)対応	1	式		
オンコール				
バックボーン	1	式		
総合設備ネットワーク	1	式		
交換機・一斉発信装置	1	式		
経費	1	式		
合計				税込(10%)

(2 前年度から変更・見直した点)
機器更新によるかし対応満期

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	14,047					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
3 列車情報伝送装置保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】

ニュース提供機関から伝送された情報を、情報発信中央装置が収集し、駅に設置された情報発信端末から、地下鉄の車内情報表示器に情報を伝送する装置です。

【機器構成】

- ・中央装置(総合司令所) : 1台
- ・情報入力端末(花咲ビル(営業推進本部)) : 1台
- ・駅装置(情報発信端末・無線LAN) : 9組 (湘南台、戸塚、上大岡、関内、横浜、新横浜、北新横浜、中川、あざみ野)

【目的】

予防保全による設備の機能確保

【点検項目】

1か年検査(内外観検査・診断プログラム検査・データ解析等)

【内訳】

- オンコール費 一式
- 司令所装置 一式
- 新羽電気区端末 一式
- 上永谷電気区端末 一式
- 営業推進本部端末 一式
- 駅端末 9台

(2 前年度から変更・見直した点)

定期部品交換の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	5,894					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 1・3号線列車無線装置保守委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】

誘導無線電話装置(列車無線)は、運輸司令と列車間の通話、列車防護(非常・防護発報)、地震時における自動列車停止等を行う装置で、鉄道法の保安通信設備に該当する重要設備です。
本業務では中央装置、各基地局装置、隧道内設置の各線路機器の保守点検と、オンコール保守を行うものです。

【機器構成】

中央制御装置 1式(総合司令所)

基地局 7局(3年毎「センター北、新横浜」、3年毎「横浜、蒔田」、3年毎「戸塚、立場、上永谷」)
主要線路機器 56台(線路結合器、比較器、中継変成器、終端抵抗器)

【目的】

予防保全による設備の機能とオンコール保守による迅速な障害対応の確保

【点検項目】

1か年検査: 機能試験(電波法試験、通話、非常・防護発報試験、系切替機能等)

【内訳】

点検費用: 1か年検査(点検周期の関係で、年度により数量が異なります)

単位:千円

項目	数量	単位	備考
中央装置	1	式	毎年
基地局(本線)	2	局	3年周期(蒔田、横浜)
基地局(通話試験用)	2	局	3年周期(上永谷基地、新羽基地)
基地局(蓄電池交換)	5	局	3年周期(立場、戸塚、蒔田、横浜、上永谷車庫)
IR外部電源バッテリー交換	5	台	3年周期(湘南台、踊場、上永谷、港南中央、伊勢佐木長者町)
駅発報制御装置バッテリー交換	5	台	3年周期(湘南台、下飯田、立場、中田、踊場)
線路機器機能点検(本線)	2	局	基地局と同一エリア
線路機器機能点検(通話試験用)	2	局	基地局と同一エリア
電界強度測定試験	0	局	7年周期
オンコール費	1	式	
諸経費	1	式	
計			税込

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期による点検数量減、部品(バッテリー)交換数量減

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

運転保安実施基準・信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	15,376					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額					
5 指令電話装置保守業務委託						
(1 事業目的・内容)						
<p>【概要】 指令電話は、総合司令所より各駅等に対する列車運行に係る司令伝達及び電力供給に関する司令伝達に使用する保安通信設備で、音声の伝送には光LANシステムを使用しています</p> <p>【機器構成】 総合司令所: 制御装置1台、司令操作卓6台、直流電源装置1台ほか 各駅他: 指令電話子機 運転系80台、電力系18台</p> <p>【目的】 予防保全による設備の機能確保</p> <p>【点検項目】 1か年検査(機能試験・診断プログラム試験・直流電源装置検査等)</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
<p>交換機改修の減 制御装置延命化のための電源基盤交換の増</p>						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,164					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
----------	--------

6 V-UHF無線電話装置点検整備

(1 事業目的・内容)

【概要】

- VHF無線(保守用無線) = 保守区と地上部を移動する緊急車両車載無線機、携帯無線機、可搬無線機との業務用無線
 - UHF無線(基地構内無線) = 車両基地で列車を入出区する時に列車と基地信号扱所間で使用する無線
- これら設備の点検整備及び調整を行います。

【機器構成】

VHF保守用無線	基地局	4局 (花咲ビル、センター南、上永谷基地、踊場)
	移動局	42局 (車載8局、可搬10局、携帯24局)
	通信所	5か所(司令所、永谷基地信、関内駅、上永谷電気区、新羽電気区)
UHF基地構内無線	基地局	2局 (上永谷基地、新羽基地)
	移動局	46局 (携帯局)
	通信所	0か所(基地構内限定設備)
合計	基地局	6局 (上永谷基地、新羽基地)
	移動局	88局
	通信所	5箇所

【点検項目】

- ①6か月毎検査 機能試験(電波法試験、通話等)
 - ②無線局定期検査(基地局)(5年周期)
 - ③再免許(5年周期)
- ※②、③については別途予算計上

【目的】

予防保全による設備の機能の確保

【内訳】

単位:千円

	項目	数量	単位	備考
①	基地局	6	局	
	移動局	88	局	
	通信所	5	箇所	基地局によっては同一か所に通信所設置の場合あり
	経費	1	式	
	合計			税込み

【課題・目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼働を図り長寿命化を図る。

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

電波法第28、29条、信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	764					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
7 ホーム監視画像伝送装置保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】

本システムは、主要駅ホームに設置したITVカメラの映像を専用光伝送装置により総合司令所に伝送し、大画面モニターによりリアルタイムにホームの状況を監視するシステムです。ワンマン運転化により不足する駅構内の情報を補い、司令からの的確な運行指示及び防犯を目的とした設備です。

【機器構成】

- ・総合司令所 : 中央装置一式
 - 画像管理装置 1台
 - 光伝送装置 1台
 - 映像変換装置 1台
- : 大画面モニター(2面)、操作端末(2台)
- ・設置駅(10駅) : 湘南台、戸塚、上大岡、関内、桜木町、横浜、新横浜、センター南、センター北、あざみ野
 - ITVカメラ (34台)、映像変換装置(34台)、
 - 光伝送装置 (10組)、録画装置(9台)、操作監視端末(9台) ほか

【点検項目】

- ・予防保全による機能の維持: 1か年検査(外観検査・診断プログラム検査・光レベル測定等)

【目的】

予防保全による設備の機能の確保

【目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼働を図り長寿命化を図る。

【点検内容】

ホーム監視画像伝送装置のうち、カメラ部を除く各部の点検整備を行うものであり、設備が設置されている全20駅及び司令所について点検を行う。

(1)総合司令所

機器収容架、光伝送装置、映像管理サーバ及び故障管理サーバ、モニター等の装置の異常の有無を確認する。

(2)各駅装置

機器収容架、光伝送装置、録画装置、操作端末等の異常の有無を確認する。

【BL】

		R1	R2	R3	R4	R5
交換部品	NDR用HDD、電池	9台	0台			
	UPSバッテリー(通信機器室)	3台	10台			

(2 前年度から変更・見直した点)

ITV機器の更新により更新計画の変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,035					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費 節・細節：34 通信施設修繕費	所属：電気課 担当者：藪崎

(単位：千円)

【事業内容】	2年度予算額
8 対列車画像伝送装置保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】

本設備はワンマン運転の支援設備で、ホームITVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信機を使用した無線電波で車上に伝送するものです。運転士は、運転台のTVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車ドアの開閉操作を行います。本委託では、保守点検及びオンコールによる障害対応を委託します

【機器構成】

ミリ波送信機 76台 ITVカメラ 227台

【点検項目】

5か年検査 機能試験(電波法試験、映像確認、カメラ機能試験、清掃等)

【目的】

予防保全による設備の機能とオンコール保守による迅速な障害対応の確保

【課題】

システム全体のランニングコストが大きいため、異なるシステムの導入も検討していく

【目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼働を図り長寿命化を図る。

路線	装置名	交換部品名	交換周期		交換場所	交換周期表										
			メーカー推奨	当局		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	
B-L	電源装置	UPS用バッテリー、FAN	2.5年	3年	湘南台～あざみ野			○						○		
		分岐架	パワーサプライ	8年	8年	湘南台～あざみ野		○								
	リレー1		4年	4年	湘南台～あざみ野		○				○					○
	録画装置	HDD	3年	3～5年	湘南台～下永谷	○				○					○	
		FAN1			上永谷～長者町			○				○				
		FAN2			関内～岸根公園				○					○		
G-L	分岐架	パワーサプライ	8年	8年	日吉～中山			○								
		リレー2極	7年	7年	日吉～中山		○								○	
		リレー3極	10年	10年	日吉～中山					○						

送信機精密点検計画

部品交換周期表

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年
湘南台～下永谷			○					○		
上永谷～長者町				○					○	
関内～岸根公園					○					○
新横浜～あざみ野	○					○				
日吉～中山		○					○			

録画装置は更新済(H30年、R元年)

(2 前年度から変更・見直した点)

交換周期による交換部品の増(湘南台駅からあざみ野駅のUPSバッテリー
ファンの交換)
点検周期による一か年検査から五か年検査(精密検査)への点検内容の変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	15,419					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
9 早期地震警報システム保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【設備概要】

早期地震警報システムは、気象庁から配信される緊急地震速報を用い、独自の計算により市営地下鉄沿線への被害を予測します。大きな揺れが予想される場合には、列車無線装置と連携し列車を自動停止させます。さらに、エレベータの自動停止や駅構内への緊急放送を自動起動する機能も備えています。

このシステムを構成する総合司令部設置の中央装置(ファクトリーコンピュータ・ルータ・ハブ・接点出力装置)の保守点検、各駅等に設置の早期地震警報受信端末の保守点検及び交換周期に基づく蓄電池交換作業を行います。

【機器構成】

中央装置(司令部機器室): 1式
表示装置(司令部): 1式
端末(各駅・新羽車両基地・上永谷車両基地等): 44台

【点検項目】

1か年検査: 外観検査、プログラム検査、模擬発報試験、機能試験

【内訳】

単位:千円

項 目	数量	単位	備考
駅受信端末点検 昼間	0	台	
駅受信端末点検 夜間	11	台	
駅受信端末バッテリー交換 昼間	41	台	
中央装置点検 夜間	1	式	
中央装置点検 昼間	1	式	
システム更新	1	式	
経費	1	式	
合 計 (税10%込)			

【課題】

オンコール保守未契約のため、故障発生時には別途修理費が発生。

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期による点検数量増、端末の延命措置を含む。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信施設整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,195					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
10 放送設備点検整備(ブルーライン)	

(1 事業目的・内容)

【概要】

放送設備の消防点検(6ヶ月×2回)及び放送設備全般の調整、清掃を行うことや
防災設備総合運動試験の確認も行う

【機器構成】

全駅(あざみ野～湘南台)32駅の放送機、スピーカ、ワイヤレスアンテナ、非常電源

【点検項目】

6か月検査
通常点検(通常放送、ワイヤレス機能、自動案内放送等)
機能試験(消防法=火災放送・火災報知機運動試験)

【点検実施駅】

・消防点検 27駅(地下駅)
・通常点検 3駅(地上駅である仲町台、新羽、上永谷)
(センター南、北はGLで計上)

【目的】

予防保全による非常放送、ホーム放送、業務放送等の機能の維持

(2 前年度から変更・見直した点)

総合運動試験方法見直しによる人工の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法、信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	7,458					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
11 光LAN用UPSバッテリー更新	[REDACTED]

(1 事業目的・内容)

【概要】

光LAN装置は、列車無線、指令電話、自動案内放送などの音声データや、設備指令、ATO、案内表示器情報などのデータを伝送する基幹光伝送路を構成する装置です。

無停電電源装置本体は10年、バッテリーは5年で更新計画を立てています。

このため、この計画に基づき、光LAN用UPSバッテリー4台(桜木町駅、関内駅第一通信機器室、伊勢佐木長者町駅、阪東橋駅)の購入・更新を行います。

UPS更新計画台数	2019	2020	2021	2022	2023
	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5
	3	4	6	6	0

(2 前年度から変更・見直した点)

更新計画に基づく機器の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	1,733	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
12 1・3号線 その他機器修理	4,005

(1 事業目的・内容)

【概要】

あざみ野～湘南台間32駅、40.4kmの鉄道用通信設備の機器修理

【目的】

通信設備の機能の維持、保安度の向上

【課題】

設置から5年、10年が経過した機器類が多くあり、故障が発生する確率が高くなっている。

【目標】

日常点検により不具合部分の早期発見に努め、機器類の長寿命化を図る。

【修理する機器】

無線機、カメラ、放送設備等、通信設備を構成する機器類の修理

※予算調整後4,005

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,863	4,005				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	43,827	35,026	8,801

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	1,101

(1 事業目的・内容)

【概要】

日吉～中山間10駅、13.1kmの鉄道用通信設備の保守材料等の購入

【目的】

通信設備の機能の維持

【課題・目標】

様々な設備の老朽化により修理に必要な材料の種類も増えているが、適切な在庫管理と共通化を図り在庫数量を抑える
また、設置から10年を経過したホーム監視画像伝送装置のUPSを交換するため、計画的に購入します。

【購入する物品】

- ・ 電話機、インターホン等、各種通信機器
 - ・ ケーブル、配管等の工事事用部材
 - ・ ホーム監視画像伝送装置用のUPS
- ほか、通信設備の運用、保守に必要な機器、材料



ホーム監視画像伝送装置用UPS

【ホーム監視画像伝送装置UPS購入予定】

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
台数	4	6	6
更新駅	センター南 センター北	日吉 川和町 中山	都筑 北山田 東山田

(2 前年度から変更・見直した点)

特になし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,027	1,101	1,101	1,101	1,101	5,431
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 光ネットワーク、電話交換機、一斉発信装置保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】

グリーンラインに設置している通信設備(光LAN・バックボーン・総合設備ネットワーク・電話交換等)の検査・オンコール保守を行います。

【目的】

検査による設備の故障予防と長寿命化、オンコール保守による迅速な障害対応の確保

【詳細】

- 1 光LAN・バックボーン
 - (1) 用途
誘導無線・指令電話・自営PHS等の各種情報を伝送する設備
 - (2) 構成
中央装置(総合司令所)、駅装置(各駅、車両基地)
- 2 総合設備ネットワーク
 - (1) 用途
早期地震警報システム・案内表示器・在線表示器・地震計
 - (2) 構成
中央装置(総合司令所)、駅装置(各駅、車両基地)
- 3 交換機・一斉発信装置
 - (1) 用途
鉄道電話・自営PHS・一斉FAX・一斉通報機能による総合司令所からの業務連絡
 - (2) 構成
PHS制御ユニット(各駅、車両基地)

【内訳】

				単位:千円
項目	数量	単位	金額	備考
検査				
光LAN・バックボーン 検査	1	式		
総合設備ネットワーク 検査	1	式		
オンコール				
光LAN・バックボーン	1	式		
総合設備ネットワーク	1	式		
交換機・一斉発信装置	1	式		
経費	1	式		
合計				税込(10%)

(2 前年度から変更・見直した点)
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,544					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 グリーンビジョン(液晶型列車内情報表示装置)保守委託	

(1 事業目的・内容)

【設備概要】
 運輸司令にて入力された他社線及び市営地下鉄の運行情報や、花咲ビル設置のメディア編集装置から配信する動画や静止画の各種広告、横浜市や交通局の事業案内、神奈川新聞社から配信されるニュースを、司令所の中央装置において蓄積し、駅に設置された端末装置からミリ波送受信装置により、グリーンラインの車両に伝送し、車内液晶表示器へそれらの情報を表示するための設備です。
 本委託は、これらの設備の各種機器の保守点検を行うものです。

総合司令所 : 中央装置一式 (システム監視サーバ、ネットワークサーバ、ニュースコンテンツ変換サーバ、Webコンテンツクライアント)
 駅ネットワーク装置 : 運行情報入力装置(緊急メッセージ入力端末)
 花咲ビル : 日吉、センター北、中山(ネットワーククライアント、端末装置、ミリ波送受信装置)
 各箇所共通 : 編集装置一式、緊急メッセージ入力端末
 : 光端局装置

【点検項目】
 1か年検査: 外観検査、各種機能点検・光伝送レベル検査・ミリ波送受信レベル測定等

【内訳】
 点検費用 : 1か年検査 単位:千円

項目	数量	単位	備考
中央装置	1	式	司令所
メディア編集装置	1	式	司令所
駅ネットワーク装置	3	式	日吉、セ北、中山
ミリ波伝送装置	3	式	日吉、セ北、中山
ミリ波伝送装置(予備品)	1	式	川和電気区
運行情報入力装置	2	式	司令所、花咲
光端局装置	1	式	日吉、セ北、中山
オンコール費	0	式	以前からなし
経費	1	式	
消費税(10%)	1	式	
計			

(2 前年度から変更・見直した点)
無し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	4,044					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

4 4号線 列車無線装置保守委託

(1 事業目的・内容)

【概要】

列車無線装置は運輸司令と列車間の通話、列車防護(防護発報)、地震時における自動列車停止等を行う装置で、鉄道法の保安通信設備に該当する設備です。
本業務では中央装置及び基地局装置の保守点検、オンコール保守を行います。

【機器構成】

中央制御装置 : 1式(総合司令所)
基地局 : 5局(日吉本町、北山田、センター南、川和町、川和基地)
中継局 : 1局(東山田)
携帯防護無線機(試験装置含む) : 32局

【目的】

予防保全による機能の維持及びオンコール保守による迅速な障害対応の確保

【点検項目】

1か年検査 機能試験(電波法試験、通話、防護発報試験、系切替機能等)

【費用】

点検費用 : 1か年検査

単位:千円

項目	数量	単位	備考
中央装置	1	式	毎年
本線基地局	4	局	本町、北山田、セ南、川和
車庫基地局	1	局	川和基地
中継局	1	局	東山田
光伝送装置	6	台	司令所、基地局
同期伝送装置	1	局	司令所
携帯防護無線機	32	台	司令所、基地局
バッテリー交換	0	台	H29交換済み、次回H34交換予定
オンコール費	1	式	
諸経費	1	式	
合計			税10%込

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期に基づく対象機器の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

運転保安実施基準・信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	8,520					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
5 指令電話装置保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

【概要】
指令電話は、総合指令所より各駅等に対する列車運行に係る司令伝達及び電力供給に関する司令伝達に使用する保安通信設備で、音声の伝送には光LANシステムを使用しています

【機器構成】
総合指令所: 制御装置1台、司令操作卓5台ほか
各駅: 指令電話子機(運転系24台、電力系6台)、司令PHS制御装置10台、司令PHSアンテナ50台
川和車両基地: 多機能電話機2台、多機能電話制御装置1台

【目的】
予防保全による設備の機能確保

【点検項目】
1か年検査(機能試験・診断プログラム試験・直流電源装置検査等)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
機器更新	かし期間	かし期間	通常保守

(2 前年度から変更・見直した点)

かし期間終了による保守費用増
交換機改修の減
制御装置延命化のための電源基盤交換の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,126					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】 2年度予算額

6 V-UHF無線電話装置点検整備

(1 事業目的・内容)

【概要】

- ・VHF無線(保守用無線) = 保守区と地上部を移動する緊急車両車載無線機、携帯無線機、可搬無線機との業務用無線
 - ・UHF無線(基地構内無線) = 車両基地で列車を出入区する時に列車と基地信号扱所間で使用する無線
- これら設備の点検整備及び調整を行う。

【機器構成】

VHF保守用無線	基地局 移動局 通信所	0局 (センター南駅「よこはまこうつにつば(BL予算)」を使用のため未計上) 9局 (車載3局、可搬1局、携帯5局) 0か所 (川和電気区の通信所は、基地局同一場所につき基地局点検に含む)
UHF基地構内無線	基地局 移動局 通信所	1局 (川和車両基地) 10局 (携帯局) 0局 (基地構内限定設備)
合計	基地局 移動局 通信所	1局 (上永谷基地、新羽基地) 19局 0箇所

【目的】

予防保全による機能の維持及び法定検査

【点検項目】

- ①6か月毎検査 機能試験(電波法試験、通話等)
 - ②無線局定期検査(基地局)(5年周期)
 - ③再免許(5年周期)
- ※②、③については別途予算計上

【内訳】

点検費用

単位:千円

	項目	数量	単位	備考
①	基地局	1	局	川和基地(BL共有のセ南は除く)
	移動局	19	局	
	経費	1	式	
	計			税込み

【課題・目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼働を図り長寿命化を図る。

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

電波法第28、29条、信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	157					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 2年度予算額

7 ホーム監視画像伝送装置保守業務委託

(1 事業目的・内容)

【概要】

本システムは、主要駅ホームに設置したITVカメラの映像を専用光伝送装置により総合司令所に伝送し、大画面モニタによりリアルタイムにホームの状況を監視するシステムです。ワンマン運転化により不足する駅構内の情報を補い、司令からの的確な運行指示及び防犯を目的とした設備です。 本委託では、中央装置、伝送装置の定期点検を委託します。

【機器構成】

- ・総合司令所 : 中央装置一式
 画像管理装置 1台
 光伝送装置 1台
 映像変換装置 1台
- ・設置駅 : 大画面モニタ(2面)、操作端末(2台)
 : グリーンライン全駅
 ITVカメラ計205台、光伝送装置10組、録画装置36台、操作監視端末18台ほか

【点検項目】

- ・予防保全による機能の維持:1か年検査(外觀検査・診断プログラム検査・光レベル測定等)

【目的】

予防保全による設備の機能の確保

【目標】

点検の実施による機器故障の予防保全、安定稼働を図り長寿命化を図る。

【点検内容】

ホーム監視画像伝送装置のうち、カメラ部を除く各部の点検整備を行うものであり、設備が設置されている全20駅及び司令所について点検を行う。

(1)総合司令所

機器収容架、光伝送装置、映像管理サーバ及び故障管理サーバ、モニタ等の装置の異常の有無を確認する。

(2)各駅装置

機器収容架、光伝送装置、録画装置、操作端末等の異常の有無を確認する。

		R1	R2	R3	R4	R5
交換部品	NDR用HDD一式	12台	14台			
	UPSバッテリー(通信機器室)	3台	7台			

(2 前年度から変更・見直した点)

交換周期に基づく交換部品の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,952					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】 2年度予算額

8 対列車画像伝送装置保守業務委託

(1 事業目的・内容)

【概要】
 本設備はワンマン運転の支援設備で、ホームITVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信機を使用した無線電波で車上に伝送するものです。運転士は、運転台のTVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車ドアの開閉操作を行います。
 本委託では、保守点検及びオンコールによる障害対応を委託します

【機器構成】
 ミリ波送信機 24台 ITVカメラ 40台

【点検項目】
 1か年検査

【目的】
 予防保全による設備の機能とオンコール保守による迅速な障害対応の確保

【課題】
 システム全体のランニングコストが大きいため、異なるシステムの導入も検討していく

路線	装置名	交換部品名	交換周期		交換場所	交換周期表											
			メーカー推奨	当務		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年		
B-L	電源装置	UPS用バッテリー、FAN	2.5年	3年	湘南台～あざみ野				○						○		
		分岐架	パワーサプライ	8年	8年	湘南台～あざみ野			○								○
		リレー1	4年	4年	湘南台～あざみ野			○			○					○	
	録画装置	HDD	3年	3～5年	湘南台～下永谷		○				○					○	
		FAN1			上永谷～長者町				○				○				
		FAN2			関内～岸根公園					○							
					新横浜～あざみ野			○				○					○
G-L	分岐架	パワーサプライ	8年	8年	日吉～中山				○								
		リレー2極	7年	7年	日吉～中山			○								○	
		リレー3極	10年	10年	日吉～中山						○						

送信機精密点検計画

部品交換周期表

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年
湘南台～下永谷				○					○	
上永谷～長者町					○					○
関内～岸根公園						○				
新横浜～あざみ野	○						○			
日吉～中山		○						○		

録画装置は更新済(H30年、R元年)

- (2 前年度から変更・見直した点)
 点検周期による五か年検査から一か年検査(精密検査)への点検内容の変更
 交換周期による部品交換の増減
- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 信号通信設備整備心得
- (4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総額
事業費	7,683					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費 節・細節：34 通信施設修繕費	所属：電気課 担当者：藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
-------------	--------

9 早期地震警報システム保守業務委託

(1 事業目的・内容)

【設備概要】

早期地震警報システムは、気象庁から配信される緊急地震速報を用い、独自の計算により市営地下鉄沿線への被害を予測します。大きな揺れが予想される場合には、列車無線装置と連携し列車を自動停止させます。さらに、エレベータの自動停止や駅構内への緊急放送を自動起動する機能も備えています。
このシステムを構成する総合司令所設置の中央装置(ファクトリーコンピュータ・ルータ・ハブ・接点出力装置)保守点検、各駅等に設置の早期地震警報受信端末の保守点検を行います。

【機器構成】

中央装置(司令所機器室):1式
表示装置(司令室):1式
端末(各駅・川和車両基地等):12台

【点検項目】

1か年検査:外観検査、プログラム検査、模擬発報試験、機能試験

【内訳】

項 目		数量	単位	備 考
駅受信端末点検	昼間	4	台	
駅受信端末点検	夜間	2	台	
駅受信端末バッテリー交換	昼間	3	台	
システム更新		1	式	
経費		1	式	
合 計 (税10%込)				

【課題】

オンコール保守未契約のため、故障発生時には別途修理費が発生。

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期に基づく対象機器の減

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信施設整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,132					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 34 通信施設修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額					
10 放送設備点検整備(グリーンライン)						
(1 事業目的・内容)						
<p>【概要】 放送設備の消防点検(6ヶ月×2回)及び放送設備全般の調整、清掃を行うことや 防災設備総合運動試験の確認も行う</p> <p>【機器構成】 全駅(日吉~中山)10駅の放送機、スピーカ、ワイヤレスアンテナ、非常電源</p> <p>【点検項目】 6か月検査 通常点検(通常放送、ワイヤレス機能、自動案内放送等) 機能試験(消防法=火災放送・火災報知機連動試験)</p> <p>【点検実施駅】 ・消防点検 10駅(含むセンター南北)</p> <p>【目的】 予防保全による非常放送、ホーム放送、業務放送等の機能の維持</p>						
(2 前年度から変更・見直した点) 交換周期による部品の交換(全駅UPS/バッテリー交換)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 消防法、信号通信設備整備心得						
(4 年次表)						
	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,014					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費 節・細節：34 通信施設修繕費	所属：電気課 担当者：藪崎

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
11 その他機器修理	992

(1 事業目的・内容)

【概要】
日吉～中山間10駅、13.1kmの鉄道用通信設備の機器修理

【目的】
通信設備の機能の維持、保安度の向上

【課題】
設置から5年以上が経過した機器類が多くあり、故障が発生する確率が高くなっている。

【目標】
日常点検により不具合部分の早期発見に努め、機器類の長寿命化を図る。

【修理する機器】
無線機、カメラ、放送設備等、通信設備を構成する機器類の修理

(2 前年度から変更・見直した点)
無し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	827	992				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 上永谷保守管理所	
節・細節: 34 通信施設修繕費			担当者: 平塚、坪井	

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 通信施設修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
通信施設の部材を購入する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 34 通信施設修繕費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 通信施設修繕 部品材料 電気区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の通信施設修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金 30	
(2 前年度から変更・見直しした点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 川和保守管理所	
節・細節: 34 通信施設修繕費			担当者: 今野・阿部	

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 通信施設修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
緊急の通信施設修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	96,221	83,850	12,371

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	2,137

(1 事業目的・内容)

信号保安設備の機能の維持、予防保全による列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般 (湘南台～あざみ野間=12機器室+2車両基地+1上永谷弱電+1司令所=16機器室)
軌道回路装置・連動装置・ATC装置・信号モニタ装置・CTC装置・運行管理システム・電源装置
ワンマン運転化によるATO装置類およびホーム柵設備

* 信号機器室 01あざみ野・02センタ北・03新羽・04新横浜・05横浜・06関内・07長者町・08上大岡・09上永谷・
計=16 10戸塚・11踊場・12湘南台・13上永谷車両基地・14新羽車両基地・15上永谷弱電機器室・16司令所

ワンマン運転化により新規設備が増えましたが、保守区在庫品数量の見直しを行うことにより金額の増加はありません。
レールボンド・軌条絶縁の保管在庫数を見直しました。

○購入予定

項 目	用途・目的	積算額
レールボンド	レールに帰線電流を流す	
軌条絶縁(絶縁継目)	信号回路の構成用	
信号用電球	信号機の電球	
ヒューズ	信号装置用のヒューズ	
運転標識	軌道内設備	
合 計		2,137

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,030	2,137	2,137	2,137	2,137	10,578
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 1・3号線運行管理システム保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御・運行実績記録・在線状況表示・案内放送、および案内表示の制御を自動的に行う装置です。
この機能を維持するため、2か年検査や定期部品の交換、製造メーカーによるオンコール契約を行うものです。

- 総合司令所設置機器
- ・中央処理装置
 - ・対ATO伝送装置
 - ・運行表示盤
 - ・在線状況配信装置

※ R元年度:2か年検査はなし、オンコール保守、定期部品交換(電源等)

※ **R2年度:2か年検査を実施、オンコール保守、定期部品交換(電池、電源、SW-HUB等)**

※ R3年度:2か年検査はなし、オンコール保守、定期部品交換(電池、電源、SW-HUB等)

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
運行管理システム 2か年検査		1	式		
運行管理システム オンコール費		1	式		メーカーオンコール
定期交換部品		1	式		電池、電源、SW-HUB等
諸経費					
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

定期検査を2か年周期で実施しており、R2年度は定期検査を実施します。
総合司令所設置機器の老朽化に伴い、定期交換部品があります。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	7,057					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 軌条絶縁及びレールボンド点検整備	

(1 事業目的・内容)

走行レール間の継目部には、レールを電氣的に接続するレールボンドや、継目部で電氣的に分割して軌道回路を構成する軌条絶縁があります。これらが健全でなくなると、信号保安設備の根幹である列車検知や列車の速度制御を行うA T Cの機能に支障が発生して、列車の運行ができなくなります。
これらを点検して予防保全を行うことによって、列車の安全運行を確保します。

湘南台～あざみ野間（上永谷車両基地および新羽車両基地を除く）の点検を実施する。

※ R元年度点検 軌条絶縁点検箇所合計:616箇所 (普通絶縁継目502+接着絶縁継目114)
レールボンド点検箇所合計:2063箇所(全数量の30%は直営にて点検)

※ R2年度点検 軌条絶縁点検箇所合計:616箇所 (普通絶縁継目502+接着絶縁継目114)
レールボンド点検箇所合計:2063箇所(全数量の30%は直営にて点検)

なお、上永谷車両基地および新羽車両基地内の点検については、以前から直営作業にて実施していましたが、さらにH21年度から1・3号線レールボンド全数量の30%を直営点検にて実施することによって、電気区職員の鉄道専門技術の向上と外注コストの削減に取り組んでいます。

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
軌条絶縁点検整備作業		616	か所		1・3号線全か所
レールボンド点検整備作業		2,063	か所		1・3号線の30%直営化実施
軌条絶縁分解点検作業		6	か所		
レールボンド補修(取付)作業		20	本		
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	7,557					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 案内表示器保守業務委託	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

案内表示器は、お客様に対して列車運行状況を案内表示し、適切な旅客サービスを提供するための設備です。
各駅に設置している案内表示器の安定動作を確保するために2か年検査を実施し、予防保全により機器故障の発生を防止します。

点検内容: 外観、電源電圧測定、機能試験、LED表示確認試験の実施

※ R元年度2か年検査: 全209台のうち59台 + 定期交換部品 (CPUボード、リレー等)

※ **R2年度2か年検査: 全209台のうち49台 + 案内表示器中央装置 + 定期交換部品 (制御基板、ネットワーク機器)**

※ R3年度2か年検査: 全209台のうち58台

オンコール契約は行わず、故障時は別途修理対応としています。

また、H22年度から案内表示器点検の1/2を直営化しました。

H27年度実施の快速運転化に伴い、23駅のホームに案内表示器を89台増設し、合計209台になりました。

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
案内表示器点検(片面)		22	台		屋間作業にて積算
案内表示器点検(両面)		27	台		屋間作業にて積算
中央処理装置		1	式		屋間作業にて積算
定期交換部品(制御基板、ネットワーク機器)		1	式		
諸経費		1	式		
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

案内表示器点検数量の変更。

案内表示器中央装置の点検周期は2か年であり、R2年度は点検を実施します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,279					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
8 その他機器修理	3,431

(1 事業目的・内容)

信号保安設備の機能維持のため、異常発生時に緊急修理により列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般 (湘南台～あざみ野間=12機器室+2車両基地+1上永谷弱電+1司令所=16機器室)
軌道回路装置・連動装置・ATC装置・信号モニタ装置・CTC装置・運行管理システム・電源装置
ワンマン運転化によるATO装置類およびホーム柵設備

* 信号機器室 01あざみ野・02センタ北・03新羽・04新横浜・05横浜・06関内・07長者町・08上大岡・09上永谷・
計=16 10戸塚・11踊場・12湘南台・13上永谷車両基地・14新羽車両基地・15上永谷弱電機器室・16司令所

○過去の主な修理内容

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
無絶縁ATC送信ユニット修理		8	台		8件/年
無絶縁TD受信ユニット修理		4	台		4件/年
電子連動装置 電子端末ユニット修理		4	台		4件/年
ATO装置ユニット修理		4	台		4件/年
電源装置 接地検出器修理		1	台		1件/年
信号モニタ装置修理		1	台		1件/年
案内表示器修理		4	台		4件/年
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,431	3,431				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	72,163	87,084	△ 14,921

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	633

(1 事業目的・内容)

信号保安設備の機能の維持、予防保全による列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般の維持管理に伴う材料費など

信号保安施設全般 (日吉～中山間=10機器室+1車両基地+1司令所=12機器室)

軌道回路装置・連動装置・ATC装置・信号モニタ装置・運行管理システム・電源装置・案内表示器

ワンマン化によるATC装置類及びホーム柵設備

* 信号通信機器室 01日吉・02本町・03高田・04東山田・05北山田・06センター北・07センター南

計=12 08都筑・09川和町・10中山・11川和車両基地・12司令所

○購入予定

項 目	用途・目的	積算額
レールボンド	レールに帰線電流を流す	
軌条絶縁(絶縁継目)	信号回路の構成用	
ヒューズ	信号装置のヒューズ	
運転標識	軌道内設備	
非常機材	川和電気区の整備	
合 計		633

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)

横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	601	633	633	633	633	3,133
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 転てつ装置点検整備	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

この機能を維持するために、点検周期に基づき分解点検および定期点検を行い、列車の安全運行を確保します。

電気転てつ機を予備品と交換して受託工場に搬出し、分解点検および部品交換を行います。

※ R2年度整備箇所(全44台のうち今回4箇所)

- ・営業線分 (3台):センター北(3)
- ・車両基地分 (8台)

○更新予定

年度		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
転てつ装置	営業線	4台	3台	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	車両基地	7台	8台	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
転てつ装置分解点検整備(営業線分)	[Redacted]	3	台	[Redacted]	
転てつ装置分解点検整備(車両基地分)	[Redacted]	8	台	[Redacted]	
転てつ装置交換部品	[Redacted]	1	式	[Redacted]	
諸経費	[Redacted]	1	式	[Redacted]	
合計				[Redacted]	

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度より労務単価が増えています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	28,801	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
債務負担設定		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
4 軌条絶縁及びレールボンド点検整備	

(1 事業目的・内容)

走行レール間の継目部には、レールを電氣的に接続するレールボンドや、継目部で電氣的に分割して軌道回路を構成する軌条絶縁があります。これらが健全でなくなると、信号保安設備の根幹である列車検知や列車の速度制御を行う A T C の機能に支障が発生して、列車の運行ができなくなります。

これらを点検して予防保全を行うことによって、列車の安全運行を確保します。

日吉～中山間+川和車両基地の点検を実施する。

※ R元年度点検、軌条絶縁点検箇所合計:323箇所 (普通絶縁継目255+接着絶縁継目68)
レールボンド点検箇所合計:700箇所

※ R2年度点検、軌条絶縁点検箇所合計:323箇所 (普通絶縁継目255+接着絶縁継目68)
レールボンド点検箇所合計:700箇所

なお、車両基地内については昼間に点検作業を行い、作業費を削減しています。

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
軌条絶縁点検整備作業		323	か所		4号線全か所
レールボンド点検整備作業		700	か所		4号線全か所
軌条絶縁分解点検作業		4	か所		
レールボンド補修(取付)作業		10	本		
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	2,729					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：35 電気保安設備修繕費	項：01 営業費用 目：20 電路保存費 所属：電気課 担当者：藪崎

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 無停電電源装置定期点検	

(1 事業目的・内容)

無停電電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置などに安定した電源を供給するための重要な装置です。健全な機能を維持するために、点検周期に基づいた1か年検査を行い列車の安全運行を確保します。

点検内容：外観、電圧、電流測定、蓄電池放電試験、故障出力試験の実施

* 信号通信機器室 01日吉・02本町・03高田・04東山田・05北山田・06センター北・07センター南
計=11 08都筑・09川和町・10中山・11川和車両基地

※ 令和元年度点検 11台の電源装置1か年検査（単年度契約）+定期交換部品（ファン）

※ **令和2年度点検 11台の電源装置1か年検査（単年度契約）**

※ 令和3年度点検 11台の電源装置1か年検査（単年度契約）

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
CVCF1か年検査		11	台		信号機器室電源
諸経費		1	式		
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度より定期交換部品（ファン）が除外となります。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条（施設及び車両の保全）
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	5,677					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
6 無停電電源装置蓄電池購入	

(1 事業目的・内容)

信号用電源装置は、信号保安設備である連動装置やATC装置などに安定した電源を供給する重要な装置です。
 高田、センター南、都筑ふれあいの丘駅信号機器室の電源装置は、2007年の設置時に長寿命タイプ(期待寿命9~12年)の鉛蓄電池を使用して設置しました。2015年度の点検時から内部抵抗値が警告値や寿命値を超えるものが見られ始め、使用開始から11年目の2018年4月の点検では、全180セル中10セル以上に警告値、そのうち1セルでは寿命値に達している駅がある状態です。
 今回、設置後約10年経過した駅の鉛蓄電池を更新することで停電時に15分以上の電源供給を維持するとともに、信号保安設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。



鉛蓄電池設置状況

作業年度	交換箇所
R元年度	川和町、センター北、日吉本町
R2年度	高田、センター南 都筑ふれあいの丘
R3年度	北山田、東山田、中山

(2 前年度から変更・見直した点)

○前年度より鉛蓄電池の種類が変更となっています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得
 川和電気区より、内部抵抗値が規格値を越えたセルが多発していることから、蓄電池更新の要望がある。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(5 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	33,697					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藪崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
7 その他機器修理	1,100

(1 事業目的・内容)

信号保安設備の機能維持のため、異常発生時に緊急修理により列車の安全運行を確保します。

信号保安施設全般 (日吉～中山間=10機器室+1車両基地+1司令所=12機器室)

軌道回路装置・連動装置・ATC装置・信号モニタ装置・運行管理システム・電源装置・案内表示器

ATO装置類・ホーム柵設備

* 信号通信機器室 01日吉・02本町・03高田・04東山田・05北山田・06センター北・07センター南
計=12 08都筑・09川和町・10中山・11川和車両基地・12司令所

○過去の主な修理内容

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
無絶縁ATC送信ユニット修理		2	台		2件/年
無絶縁TD受信ユニット修理		1	台		1件/年
ATO装置ユニット修理		2	台		2件/年
電源装置修理		1	台		1件/年
信号モニタ装置修理		1	台		1件/年
案内表示器修理		2	台		2件/年
合計					

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第87条(施設及び車両の保全)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	1,374	1,100				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 電気保安設備修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
<p style="margin-left: 40px;">信号保安設備の部材を購入する費用。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 35 電気保安設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 電気保安設備修繕 部品材料 電気区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の電気保安設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金	30
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 川和保守管理所	
節・細節: 35 電気保安設備修繕費			担当者: 今野・阿部	

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 電気保安設備修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
緊急の電気保安設備修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	179,636	156,640	22,996

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
1 材料費	33,036

(1 事業目的・内容)

- ・電気区の保守用電気材料の購入
- ・蛍光ランプ類(委託作業支給品、保守用)の購入
- ・防災機器・設備用バッテリーの購入
- ・照明器具補修用部品(安定器)の購入
- ・サードレール関連材料(碍子帽、中心皿、短枕木、コーチボルト、碍子用パッキン等)の購入
- ・駅電気室機器の購入

○購入内訳

項 目
保守用電気材料費(電線、ケーブル、照明器具、スイッチ、コンセント、電線管)
蛍光ランプ類
防災盤バッテリー
防災設備材料(感知器、誘導灯等)
サードレール関連材料(碍子帽、中心皿、短枕木、コーチボルト、碍子用パッキン)
ネットワークリレー
直流電源装置 蓄電池

(概要)

- ・蛍光ランプの購入については電気区と在庫数量の確認を行い、購入数量は必要最低限のものとしています。また不足が生じた都度、必要な数量を購入するようにし、余剰な在庫を購入しないようにしています。
- ・ホーム階で使用する照明は、鉄道の運行に必要な機器に影響を与えないよう注意する必要があります。(省エネ型照明(Hf型照明)やLED照明は、列車無線に影響を与える懸念があり、設置の際は、列車無線に影響を与えない検証を行い設置しています。)
- ・防災盤バッテリー、防災設備材料は消防設備点検において劣化または不良と判定された箇所において、材料を購入し直営で補修します。

(課題)

- 駅構内の接客部分の管球は定期的に交換しています。それが材料費の3割以上を占めています。(駅事務室や倉庫などは球切れの都度交換しています。照度低下による事前交換は行ないません。)

(目標)

- 蛍光ランプは長期間使用すると照度が落ちてしまうために、切れる前に交換することで常に必要な照度を保ちお客様のサービスに努めます。環境負荷への低減を考慮し、管球購入のグリーン購入対象品について100%実施します。

(これまでの取り組み)

- 交換を行った蛍光ランプのうち比較的状态の良い管球は、廊下や機械室などのバックヤードで使用する蛍光灯の交換等に再利用することで、材料費の削減に取り組んでいます。

(2 前年度から変更・見直した点)

交換周期によるランプ購入増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	42,116	33,036	33,036	33,036	33,036	174,260
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 消防設備点検整備	

(1 事業目的・内容)
 高速鉄道ブルーラインの駅舎及び変電所等に設置されている消防設備の防災機能保持のため、消防法に基づいた点検整備を行い安全な施設の提供を維持します。

(点検場所)

駅消防設備32駅
 車両基地2か所
 変電所18か所

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅の防災設備は、ブルーライン駅舎の防災設備と一体であるため、ブルーラインの委託点検で実施します。

(点検内容)

自動火災報知設備、防災設備及び誘導灯、非常電源受電設備の点検

(課題・目標)

消防用設備は、火災等の災害時にお客様の生命を守る重要な設備として、常に正常に動作する事が求められます。そのため法に基づいた周期で点検を行い、設備の健全性維持に努めます。

なお、29年度から建築課が発注している消防用設備等点検保守業務委託(排煙設備、スプリンクラー等)、シャッター等保守点検委託(防火戸、防火シャッター、管理シャッター等)と合わせて一つの委託として発注することにより、総合的な防災設備としての機能を一つの委託で確認できるようにしています。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・消防法 第17条3の3
- ・横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	15,412					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
3 高速鉄道電気設備点検	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの駅電気設備と電気室設備について、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき年次点検(1か年、2か年検査)を行います。

【点検対象駅】

2年度はブルーラインの32駅および2車両基地の計34か所のうち26か所を委託点検対象とし、他の駅については直営にて点検を実施します。

No.	駅名	1か年	2か年	No.	駅名	1か年	2か年	No.	駅名	1か年	2か年	No.	駅名	1か年	2か年
1	湘南台	委託	委託	11	上永谷基地	直営	×	18	関内	委託	委託	27	北新横浜	委託	×
2	下飯田	委託	委託	12	上大岡	直営	×	19	桜木町	委託	委託	28	新羽基地	委託	×
3	立場	委託	委託	13	弘明寺	直営	×	20	高島町	委託	委託	29	新羽	委託	×
4	中田	委託	委託	14	蒔田	直営	×	21	横浜	委託	委託	30	仲町台	委託	×
5	踊場	委託	委託	15	吉野町	委託	委託	22	三ツ沢下町	委託	委託	31	センター南	直営	×
6	戸塚	委託	×	16	阪東橋	委託	委託	23	三ツ沢上町	委託	委託	32	センター北	直営	×
7	舞岡	委託	×	17	伊勢佐木長者町	委託	委託	24	片倉町	委託	委託	33	中川	直営	×
8	下永谷	委託	×					25	岸根公園	委託	委託	34	あざみ野	直営	×
9	上永谷	委託	×					26	新横浜						
10	港南中央	委託	×												

【点検内容】

- 電気室1か年検査 : 変圧器外観点検、継電器外観点検、断路器外観点検 他
- 電気室2か年検査 : 1か年検査の内容に加えて、各機器絶縁抵抗測定、継電器特性試験 他
- 電気室6か年検査 : 絶縁油劣化測定(変圧器、断路器)
- 駅電気設備1か年検査 : 分電盤外観点検、非常灯機能点検 他
- 駅電気設備2か年検査 : 1か年検査の内容に加えて、各配線絶縁抵抗測定、設置抵抗測定 他

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	21,470					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
4 駅照明器具清掃及び蛍光灯等交換作業	

(1 事業目的・内容)

安全・快適な駅施設を維持するため照明器具の清掃と蛍光灯の交換を行ない、適切な照度を維持・確保します。なおコスト削減のため、交換する蛍光灯は、別途、保守用材料として購入したものから支給し作業を行います。

【作業の内訳】

駅数32駅

作 業 内 訳	ランプ交換及び清掃作業費
	交換ランプ運搬費
	管球リサイクル費

【取組】

○ 交換周期を14-16か月とし、材料費の削減に努めています。

【目標】

・蛍光灯は長期間使用していると照度が徐々に下がり、球切れが起こります。そのため照度が著しく下がるのを防ぐため、蛍光灯が切れる前に交換することで適切な照度を確保します。その結果、安全性・快適性を維持し、サービス向上に努めます。
・撤去した蛍光灯の一部は、使用場所により使用可能なものがあります。撤去した蛍光灯のうち、再利用が可能なものは、バス営業所や保守区事務所等、支障がない場所で再利用を行い、環境負荷の低減や廃棄・処分費の削減に努めます。また廃棄するランプは、適正な方法で処分を行いません。

(2 前年度から変更・見直した点)

年度による作業区間の変動(数量変動)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得
お客様へのサービスの一環として、駅構内の照度を保ち、安全性、快適性の向上を図るため、照明器具の清掃及び管球の交換を行います。また購入するランプは、グリーン購入対象品を購入し、環境負荷の低減を図ります。

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	28,413					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 電気課	
節・細節: 36 電力線設備修繕費			担当者: 府馬	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 高速鉄道電気設備小工事	

(1 事業目的・内容)

本工事は、保守区では対応が困難な場所や専門知識、特殊工具などを要する電気設備の緊急故障処置を迅速に行うために、修理単価をあらかじめ定めた年間契約を行い、施設の維持を図るための工事です。

電気設備の故障による大規模な障害の復旧、長期間のサービス低下の防止などのために本工事を活用します。

【主な実施内容(予定)】

- 幹線・照明・コンセントに関する修理・改修工事
- 非常灯・誘導灯・表示灯・広告灯に関する修理・改修工事
- 自動火災報知に関する修理・改修工事
- 通信等に関する修理・改修工事

【課題・目標】

故障対応は保守区の直営補修が原則ですが、故障状況を十分に把握・精査し、必要最低限の補修依頼をする事で経費の縮減に努めます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得
電気設備技術基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	4,807					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
6 直流電源装置点検	

(1 事業目的・内容)

電気室機器の制御用および非常灯の電源を供給する直流電源装置の性能維持、機器の正常稼働の確保を目的とし、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき、精密点検(3か年点検)を行います。

【令和2年度の主な内容】

令和2年度は、以下の9台について点検を実施します。

- ①湘南台駅 ②下飯田駅 ③立場駅 ④中田駅 ⑤踊場駅 ⑥舞岡駅 ⑦上永谷車両基地 ⑧伊勢佐木長者町駅 ⑨横浜駅

【前年度の主な内容】

令和元年度は、以下の7台について点検を実施しております。

- ①上大岡駅 ②弘明寺駅 ③蒔田駅 ④吉野町駅 ⑤桜木町駅 ⑥高島町駅 ⑦新羽車両基地

【令和2年度及び、今後の点検台数(計画)】

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検数	9台			

【主な点検・整備項目】

- ・出力電圧波形観測
- ・シーケンステスト
- ・内部抵抗測定
- ・絶縁抵抗測定

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期表による台数の変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,783					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費 節・細節：36 電力線設備修繕費	所属：電気課 担当者：府馬

(単位：千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
7 電車線路支持碍子清掃	

(1) 事業目的・内容

サードレール支持碍子は、サードレール(電車線)を大地から電氣的に絶縁し、支持する物です。その電氣的絶縁性能を維持するためには、定期的に清掃する必要があります。(汚れを放置するとリークなどによる障害が発生します。)
この作業はサードレール支持碍子の清掃を定期的に行うことで、碍子の絶縁性能を維持します。
なお、23年の8月に下り高島町～桜木町間で、リークによる碍子焼損が原因の運行障害を発生させてしまい、その後特殊区間として事故を未然に防止するため、特に環境が悪い区間を重点的に行っています。

【実施区間(定期的区間及び特殊区間)】

(1) 定期的区間(年1回)

令和2年度実施区間：新横浜～あざみ野

(2) 特殊区間(年複数回)

- 特殊区間A: 上下線 吉野町～関内間(4回/年)
- 特殊区間B: 上下線 関内～桜木町間(2回/年)
- 特殊区間C: 上り線 桜木町～高島町間(5回/年)
- 特殊区間D: 下り線 桜木町～高島町間(7回/年)
- 特殊区間E: 上下線 高島町～横浜間(2回/年)
- 特殊区間F: 上下線 横浜～三ツ沢下町間(シールド部手前まで)(4回/年)

●・・・実施月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定期区間		●										
特殊区間A		●		●	●	●						
特殊区間B		●		●								
特殊区間C		●		●		●			●			●
特殊区間D		●	●	●	●	●			●			●
特殊区間E		●		●								
特殊区間F		●		●		●			●			

【課題・目標】

23年8月10日、下り高島町～桜木町間で、リークによる碍子焼損が原因の運行障害を発生させてしまいました。
今後、この様なリーク等の事故を未然に防止するため、特に環境の悪い場所については適切に清掃を行うことで電氣的な絶縁性能を維持し事故防止に努めています。

(2) 前年度から変更・見直した点

点検周期による定期的区間の変動

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

鉄道に関する技術基準(電気編)：漏洩電流を電車線1キロメートルにつき、100mA以下に抑える

(4) 年次表

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	17,592					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
8 電車線路補修工事	

(1 事業目的・内容)

保守区では技術的に補修が困難な、電車線設備(サードレール、支持物、防護物等)を補修する工事です。これにより列車の正常な運行を維持・確保します。

【主な事業内容】

直営では対応が困難なサードレール交換や補修、特殊工具・機器を使用する専門的補修工事を実施しています。

- ハツリを伴う短枕木の交換
- 腐食により固着した腕金の交換
- 腐食したトラフ架台、トラフ橋の補修

(2 前年度から変更・見直した点)

保守区で保有する資材の必要確保数量の見直しや、資材の活性化を目的に一部の資材を支給することで、工事費の削減を図っています。その結果、より広い範囲の補修が行えるよう取り組んできました。一方、設備の老朽化が進行している中で、今まで以上、広範囲の箇所の補修を行わなければならない状況となっています。そのため今年度より、補修箇所、数量を見直してきました。

【課題・目標】

補修が必要な区間から、限られた経費の中で有効な補修が行えるよう、緊急性・重要度等を勘案し、優先順位を判断し補修を行っています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	23,750					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
9 その他機器修理	300

(1 事業目的・内容)

故障品及び保守基準値から外れた機器の修理を行い、機能保持、安全運行の確保を行ないます。

【主な内容】(今までの取り組み内容)

- 専門資格・知識を必要とする、自動火報報知設備(受信機、感知機)の修理など
- 特殊部品を必要とする、防災盤設備の修理など

(2 前年度から変更・見直した点)

【課題・目標】

- 保守区の直営補修を積極的に行なっていますが、各機器・設備の経年劣化が進行しており毎年、一定の外注修理が発生している状況にあります。
- 前年度と同様、想定外の機器修理が生じた場合は、その都度、経営管理課と相談し、対応することとします。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	297	300				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
10 変電所機器点検整備(上永谷駅)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、配電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、三ツ沢変電所の20kV真空遮断器の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	点検機器	実施年度
三ツ沢変電所 ※	真空遮断器	令和2年度
上永谷変電所 ※	真空遮断器	令和4年度
	直流高速度遮断器	令和4年度
北の谷変電所 ※	直流高速度遮断器	令和4年度
上永谷駅	高圧区分閉器	令和4年度

※上永谷駅以外については変電設備修繕費外注費(02.20.37.37.22)にて実施。
契約は、変電所機器点検と一括で行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
11 変電所機器点検整備(下飯田変電所ほか5か所)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、配電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)及び整流器、回生インバータのオーバーホール(15年毎)、並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、下飯田変電所、茅ヶ崎変電所の回生インバータの細密点検を実施します。

【主な点検内容】

実施年度	点検実施場所	点検機器
令和2年度	下飯田変電所※	回生インバータ
	茅ヶ崎変電所※	回生インバータ
令和3年度	片倉変電所※	60kV ガス遮断器
		20kV真空遮断器
		6kV真空遮断器
	横浜駅電気室	高圧区分閉器
令和4年度	川和町変電所※	変圧整流器
	日吉本町変電所※	変圧整流器

※下飯田変電所、茅ヶ崎変電所、片倉変電所については変電所設備修繕費外注費(02.20.36.36.32)

※川和町変電所、日吉本町変電所については変電所設備修繕費外注費(02.20.37.37.32)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	53,787	35,377	18,410

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	28,692

(1 事業目的・内容)

- ・電気区の保守用電気材料の購入
- ・蛍光ランプ類(委託作業支給品、保守用)の購入
- ・非常機材(電車線用復旧材料)の購入
- ・電車線材料(電線、碍子、金物等)の新規購入
- ・架線測定装置用消耗部品の購入

○購入内訳

項 目
保守用材料費(電線、ケーブル、照明器具、スイッチ、コンセント、電線管)
蛍光ランプ類
防災盤バッテリー
非常機材(電車線用復旧材料)
電車線関連材料(支持碍子、金物)の補充購入
架線測定装置用消耗部品
直流電源装置 蓄電池

(概要)

・蛍光ランプの購入については電気区と在庫数量の確認を行い、購入数量は必要最低限のものとしています。また不足が生じた都度、必要な数量を購入するようにし、余剰な在庫を補修しないようにしています。
 ・ホーム階で使用する照明は、鉄道の運行に必要な機器に影響を与えないよう注意する必要があります。(省エネ型照明(Hf型照明)やLED照明は、列車無線に影響を与える懸念があり、設置の際は、列車無線に影響を与えない検証を行い設置しています。)
 ・防災盤バッテリー、防災設備材料は消防設備点検において劣化または不良と判定された箇所において、材料を購入し直営で補修します。

(課題)

駅構内の接客部分の管球は定期的に交換しています。それが材料費の7割以上を占めています。(駅事務室や倉庫などは球切れの都度交換しています。照度低下による事前交換は行ないません。)

(目標)

蛍光ランプは長期間使用すると照度が落ちてしまうために、切れる前に交換することで常に必要な照度を保ちお客様のサービスに努めます。環境負荷への低減を考慮し、管球購入のグリーン購入対象品について100%実施します。

(これまでの取り組み)

交換を行った蛍光ランプのうち比較的状态の良い管球は、廊下や機械室などの蛍光灯交換等に再利用することで、材料費の削減に取り組んでいます。

(2 前年度から変更・見直した点)

周期によるランプ購入減

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	10,705	28,692				39,397
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 消防設備点検整備	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の駅舎及び変電所等に設置されている消防設備の防災機能保持のため、消防法に基づいた点検整備を行い安全な施設の提供を維持します。

(点検場所)

駅消防設備 8駅※
車両基地 1か所
変電所 3か所

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅の防災設備は、ブルーライン駅舎の防災設備と一体であるため、ブルーラインの委託点検で実施します。

(点検内容)

自動火災報知設備、防災設備及び誘導灯、非常電源受電設備の点検

【課題・目標】

消防用設備は、火災等の災害時にお客様の生命を守る重要な設備として、常に正常に動作する事が求められます。そのため法に基づいた周期で点検を行い設備の健全性維持に努めます。

なお、29年度から建築課が発注している消防用設備等点検保守業務委託(排煙設備、スプリンクラー等)、シャッター等保守点検委託(防火戸、防火シャッター、管理シャッター等)と合わせて一つの委託として発注することにより、総合的な防災設備としての機能を一つの委託で確認できるようにしています。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・消防法 第17条3の3
- ・横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,568					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
3 駅照明器具清掃及び蛍光ランプ等交換作業	

(1 事業目的・内容)

安全・快適な駅施設をお客様に提供するために、照明器具の清掃を行ない必要照度を確保していきます。
また清掃と同時に材料費で購入した、管球を支給し交換することで、適正照度を確保しお客様へのサービス向上に取り組みます。

【作業の内訳】

駅数 8駅 ※

ランプ交換及び清掃作業費
交換ランプ運搬費
管球リサイクル費

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅については、ブルーラインの照明設備として清掃作業を行います。
(電源の供給元が、ブルーラインの各駅電気室から供給されているため)

【取組】

○交換周期を見直し、14-16か月で交換(2か月延長)し、材料費の削減に努めています。

【目標】

- ・蛍光ランプは長期間使用すると照度が落ちてしまうため、切れる前に交換することで常に照度を一定以上に保つことが出来、お客様へのサービス向上に努めます。
- ・撤去した蛍光管は、適正な方法で処分を行ないます。

(2 前年度から変更・見直した点)

年度による作業区間の変動(数量変動)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

お客様へのサービスの一環として、駅構内の照度を保ち、安全性、快適性の向上を図るため、照明器具の清掃及び管球の交換を行います。また購入するランプは、グリーン購入対象品を購入し、環境負荷の低減を図ります。

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,009					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 高速鉄道電気設備小工事	

(1 事業目的・内容)

本工事は、保守区では対応が困難な場所や専門知識、特殊工具などを要する電気設備の緊急故障処置を迅速に行うために、修理単価をあらかじめ定めた年間契約を行い、施設の維持を図るための工事です。

電気設備の故障による大規模な障害の復旧、長期間のサービス低下の防止などのために本工事を活用します。

【主な実施内容(予定)】

- 幹線・照明・コンセントに関する修理・改修工事
- 非常灯・誘導灯・表示灯・広告灯に関する修理・改修工事
- 自動火災報知に関する修理・改修工事
- 通信等に関する修理・改修工事

【課題・目標】

故障対応は保守区の直営補修が原則ですが、故障状況を十分に把握・精査し、必要最低限の補修依頼をする事で経費の縮減に努めます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得
電気設備技術基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,254					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 電気課	
節・細節: 36 電力線設備修繕費			担当者: 府馬	

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
----------	--------

5 高速鉄道電気設備点検

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの駅電気設備と電気室設備について、横浜市高速鉄道電力設備整備心得に基づき年次点検(1か年、2か年検査)を行います。

【点検対象駅】

グリーンラインの8駅を委託点検対象とし、川和車両基地については直営作業にて点検を実施します。

※ グリーンラインのセンター南、センター北駅については、ブルーラインの各駅電気設備として点検を行います。

(電源の供給元が、ブルーラインの各駅電気室から供給されているため)

No.	駅名	No.	駅名	No.	駅名	No.	駅名
1	中山	4	都筑ふれあいの丘	7	北山田	10	日吉本町
2	川和町	5	センター南	8	東山田	11	日吉
3	(直営)川和基地	6	センター北	9	高田		

【点検内容】

電気室1か年検査 : 変圧器外観点検、継電器外観点検、断路器外観点検 他

電気室2か年検査 : 1か年検査の内容に加えて、各機器絶縁抵抗測定、継電器特性試験 他

駅電気設備1か年検査 : 分電盤外観点検、非常灯機能点検 他

駅電気設備2か年検査 : 1か年検査の内容に加えて、各配線絶縁抵抗測定、設置抵抗測定 他

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	9,896					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費 節・細節：36 電力線設備修繕費	所属：電気課 担当者：府馬

(単位:千円)

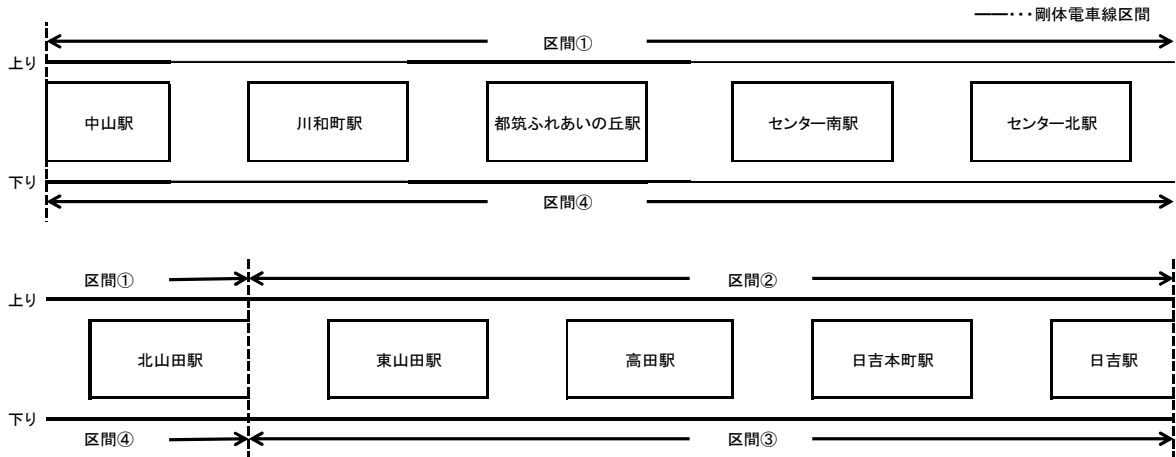
【事業内容】	2年度予算額
6 電車線碍子清掃	[金額]

(1 事業目的・内容)

電車線の碍子は電車線を構造物から絶縁するために設備されているため、碍子が汚れ絶縁性能が低下すると漏電等の事故につながったり、構造物に電気が漏れ埋設配管を腐食・損傷させるなど他の事業者へ被害を及ぼす原因となる事もあります。このため電車線路を支持する碍子を定期的に清掃する事により、漏電等の事故防止や構造物への漏れ電流の低減を行います。

【実施区間】

4号線を4つの区間に分け、4年毎に清掃を行っています。
令和2年度は区間②上り線北山田駅～日吉駅を実施します。



(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期による定期的区間の変動

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,958	[金額]				[金額]
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 その他機器修理	

(1 事業目的・内容)

故障品及び保守基準値から外れた機器の修理を行い、機能保持、安全運行の確保を行ないます。

【主な内容】(今までの取り組み内容)

- 緊急かつ多人数を要する、架空電車線設備の修理
- 専門資格・知識を必要とする、自動火報報知設備(受信機、感知機)の修理
- 特殊部品を必要とする、防災盤設備の修理 など

(2 前年度から変更・見直した点)

【課題・目標】

- 保守区の直営補修を積極的に行なっていきますが、開業から5年以上が経過し、電力設備の修理が必要な事が想定されます。
- 25年度の架空電車線設備の修理実績額を計上しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	995					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 電力線設備修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
電力線設備の部材を購入する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 電力線設備修繕 部品材料 電気区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の電力線設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金	30
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 36 電力線設備修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 電力線設備修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
<p style="margin-left: 40px;">緊急の電力線設備修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
<p style="margin-left: 40px;">なし</p>	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
<p style="margin-left: 40px;">局の小額物品制度による</p>	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	17,663	101,615	△ 83,952

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
1 材料費	5,878

(1 事業目的・内容)

変電所及び総合司令所(電気司令)の故障した機器や維持管理に必要な材料等を購入します。

【業務の内容】

- 変電所設備の機器及び材料の購入
- 司令所の電力管理システム及び設備司令システムの機器及び材料の購入

【積算内訳】

項 目	数 量	価 格[千円]
保守用材料費	1式	5,878
直流電源装置蓄電池	1式	
消費税(10%)	1式	

(2 前年度から変更・見直した点)

- 今後も在庫数量を適正に管理し、余分な在庫を持たないことで経費の削減に努めます。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	4,920	5,878				10,798
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 直流電源装置点検	

(1 事業目的・内容)

変電所機器の正常稼働を行うための制御用電源を給電する直流電源装置の性能維持、機器の正常稼働の確保を目的に、精密点検(3か年点検)を行います。

【令和2年度の主な内容】

令和2年度は、以下の6台について点検を実施します。

- ①舞岡変電所 ②舞岡変電所(GT始動) ③高島町変電所 ④新横浜変電所 ⑤荏田変電所 ⑥総合指令所(BL)

【前年度の主な内容】

令和元年度は、以下の7台について点検を実施しました。

- ①上永谷変電所 ②笹下変電所 ③蒔田変電所 ④関内変電所 ⑤関内変電所(GT始動) ⑥片倉変電所 ⑦片倉変電所(GT始動)

【令和2年度及び今後の計画】

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検数	6台			

【主な点検・整備項目】

- ・出力電圧波形観測
- ・シーケンステスト
- ・内部抵抗測定
- ・絶縁抵抗測定 などを実施

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・点検周期による点検対象数の変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,714					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 換気エアフィルター交換洗浄作業	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各変電所(18か所)の換気設備に使用しているエアフィルターの交換及び洗浄を行い、変電所内の健全な環境を維持します。

【業務の目的】

変電所は、機器の温度上昇を防止するために一定温度で換気を行っています。そのため、外部からの粉塵の進入による変電機器の故障を防止するため、防塵用エアフィルターを取り付けています。

本業務は、その防塵用フィルターを交換・洗浄し、変電所内を良好な環境に維持し、機器の故障防止や延命化を図るものです。

【積算の内訳】

項 目	数 量
交換洗浄費	18 か所
消費税(10%)	一式

※ 新たに購入するフィルターは、分離・分割の取組に基づき、材料として別途、購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

・フィルターの適切な利用のため洗浄本数・交換箇所増加(舞岡変電所)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,967					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 変電所機器点検整備(三ツ沢変電所ほか3か所)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、配電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、三ツ沢変電所の20kV真空遮断器の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	点検機器	実施年度
三ツ沢変電所	真空遮断器	令和2年度
上永谷変電所	真空遮断器	令和4年度
	直流高速度遮断器	令和4年度
北の谷変電所	直流高速度遮断器	令和4年度
上永谷駅 ※	高圧区分閉器	令和4年度

※上永谷駅については電路設備修繕費外注費(02.20.36.36.22)にて実施。
契約は、変電所機器点検と一括で行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	2,850					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 変電所機器点検整備(舞岡変電所ほか2か所)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)及び整流器のオーバーホール(15年毎)、並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、笹下変電所の22kV真空遮断器の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

点検実施場所	点検機器	実施年度
舞岡変電所	ガス遮断器	令和4年度
	直流高速度遮断器	令和3年度
笹下変電所	真空遮断器	令和2年度
	直流高速度遮断器	令和3年度
荻田変電所	直流高速度遮断器	令和4年度
	変圧整流器	令和4年度

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	13,509					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
6 変電所機器点検整備(高島町変電所ほか3か所)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、配電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)及び整流器のオーバーホール(15年毎)、並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、高島町変電所の22kVガス絶縁開閉装置、直流高速度遮断器、新横浜変電所の22kV真空遮断器の細密点検を実施します。

【主な点検内容】

実施年度	点検実施場所	点検機器
令和2年度	高島町変電所	22kV ガス絶縁開閉装置
		直流高速度遮断器
	新横浜変電所	22kV真空遮断器
令和4年度	蒔田変電所	66kV ガス絶縁開閉装置
		22kV真空遮断器
		直流高速度遮断器
	牛久保変電所	22kV ガス絶縁開閉装置
		6.6kV真空遮断器
		変圧整流器

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	4,494					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 変電所機器点検整備(下飯田変電所ほか5か所)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、配電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)及び整流器、回生インバータのオーバーホール(15年毎)、並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、下飯田変電所、茅ヶ崎変電所の回生インバータの細密点検を実施します。

【主な点検内容】

実施年度	点検実施場所	点検機器
令和2年度	下飯田変電所	回生インバータ
	茅ヶ崎変電所	回生インバータ
令和3年度	片倉変電所	60kV ガス遮断器
		20kV真空遮断器
		6kV真空遮断器
令和4年度	横浜駅電気室※	高圧区分閉器
	川和町変電所※	変圧整流器
	日吉本町変電所※	変圧整流器

※横浜駅については電路設備修繕費外注費(02.20.36.36.22)

※川和町変電所、日吉本町変電所については変電所設備修繕費外注費(02.20.37.37.32)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	18,440					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
8 電力管理システム点検整備	

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは、総合司令部から、無人の変電所の機器操作や制御、監視等を遠隔で行うための装置です。このシステムにより、ブルーラインの18変電所の制御や運転が正確に行え、列車の定時性確保に結び付いています。本件は、ブルーラインの各変電所及び総合司令部に設置されている伝送装置、中央処理装置、制御端末、伝送子局等の点検を実施するものです。

	元年度	2年度
交換部品	なし	メモリバッテリー
交換場所	なし	司令部 下飯田変電所 和泉変電所 踊場変電所 最戸変電所 関内変電所 高島町変電所
点検か所	19か所	19か所

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	7,445					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
9 変電所交流設備点検	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各変電所の交流設備である、配電盤、遮断器、変圧器等について、各機器の動作、機能等に異常がないかを確認するための定期点検(1か年、2か年、3か年)を行います。

2年度は、18変電所のうち下記の8変電所の点検委託を実施します。

【点検委託を実施する変電所】

No.	変電所名	No.	変電所名
1	下飯田	5	関内
2	舞岡	6	片倉町
3	最戸	7	茅ヶ崎
4	蒔田	8	牛久保

【点検内容】

- 変電所1か年検査 : 変圧器外観点検、交流遮断器各種試験測定、アナログ型保護継電器特性試験 他
- 変電所2か年検査 : 1か年検査の内容に加えて、気中キュービクル外観点検 他
- 変電所3か年検査 : 1、2か年検査の内容に加えて、ガス絶縁開閉装置外観点検
デジタル型保護継電器特性試験 他

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	7,301					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
10 非常用発電設備点検整備	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの舞岡・関内・牛久保変電所に設置されている、非常用発電機の機能及び動作を維持するため、3か年点検を実施すると共に、牛久保変電所については部品交換を中心とした分解整備を実施します。

【業務の目的】

地下鉄変電所の発電機設備は、災害等により電力会社からの送電が途絶えた場合であっても、各駅の最低限の照明や防災設備等の重要な設備に電力を供給する設備です。

そのため非常時の正常稼働を担保するため、本設備の点検及び部品交換を定期的に行い、機器の健全性を確保します。

【主な点検項目】

○原動機

- ・本体異常の有無
- ・燃料・潤滑油系統の部品交換・分解整備
- ・始動・点火系統の部品交換・分解整備
- ・调速・制御系統の部品交換・分解整備
- ・計器類その他の部品交換・点検整備

○発電機

- ・外部異常の有無
- ・軸受けの点検整備
- ・各部(巻線・鉄心、界磁、その他)の点検整備
- ・絶縁抵抗測定

○共通

- ・実負荷運転試験

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・牛久保変電所については、製造後28年経過しているため、部品交換を中心とした分解整備も実施します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
12 その他機器修理	11,785

(1 事業目的・内容)

変電所機器やそれらの監視制御を行う電力管理装置等(総合司所設置)において、直営では対応できない故障が発生した場合に、機器の修理を委託し、列車や駅舎への電力供給が長時間に渡って支障することがないようにするものです。

【業務の目的】

突発的な故障に対して、迅速に対応し、変電所機器等の機能を正常に回復するものです。

【主な内容】(過去の主な修理の例)

- 変電所の遮断器の故障修理
- 電力管理システム大画面表示装置の故障修理
- 設備システム伝送装置の故障修理
- 変電所の保護継電器故障修理

【主な修理実績】

修 理 内 容
踊場変電所高速度遮断器ホールCT修理
荏田変電所送風機ほか修理
蒔田変電所主配盤室空調機修理
舞岡変電所ホイストクレーンリミッター修理(その2)
片倉変電所直流高速度しゃ断器(54P1)修理
関内変電所始動用直流電源装置修理
下飯田変電所NSロールフィルター修理
最戸変電所給水用ポンプ配管修理
変電所換気設備修理
荏田変電所1号整流器保護装置修理
電力管理システム茅ヶ崎変電所伝送装置子局修理

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	11,785	11,785				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
13 直流き電回路故障選択装置基板更新	

(1 事業目的・内容)

直流き電回路故障選択装置(デルタアイ)は、電車走行用電力(き電)の事故を検出し、遮断器を開放させ電気の送電を停止させる重要な保護装置です。
 本装置に使用している電気部品の中には経年劣化するものがあるため、これらの部品を搭載した基板の交換を実施し、装置としての延命化を図ります。
 実施箇所は直近で変電所機器更新を控えている片倉変電所、三ツ沢変電所、笹下変電所を除き、稼働年数が概ね10年以上の装置について実施します。

故障選択装置(演算部)



故障選択装置(出力回路基板)



【基板更新内容】

変電所名	基板更新箇所
荻田変電所	演算部、出力リレー部、電源部
茅ヶ崎変電所	
牛久保変電所	
北の谷変電所	
踊場変電所	
下飯田変電所	
和泉変電所	
新横浜変電所	
舞岡変電所	ΔIユニット、制御ユニット、プリンタユニット、電源部
蒔田変電所	
センター北変電所	
関内変電所	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	17,807	62,415	△ 44,608

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 材料費	15,964

(1 事業目的・内容)

変電所及び総合司令所(電気司令)の故障した機器や維持管理に必要な材料等を購入します。

【業務の内容】

- 変電所設備の機器及び材料の購入
- 司令所の電力管理システム及び設備司令システムの機器及び材料の購入

【積算の内訳】

項 目	数 量	価 格[千円]
保守用材料費	1式	15,964
パネルフィルター	1式	
直流電源装置 蓄電池	1式	
変電所カメラ	1式	
消費税	1式	

【課題・目標】

- ・今後も、在庫数量を適正に管理し、余分な在庫を持たないことで、経費の削減に取り組みます。

(2 前年度から変更・見直した点)

- 交換周期に基づく直流電源装置蓄電池交換を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- 横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,665	15,964				19,629
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
2 換気エアフィルター交換洗浄作業	

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの各変電所(2か所)の換気設備に使用しているエアフィルターとの交換及び洗浄を行い、変電所内の健全な環境を維持します。

【業務の目的】

変電所は、機器の温度上昇を防止するために一定温度で換気を行っています。そのため、外部からの粉塵の進入による変電機器の故障を防止するため、防塵用フィルターを取り付けています。

本業務は、その防塵用フィルターを洗浄・交換し、変電所内を良好な環境に維持し、機器の故障防止や延命化を図るものです。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	148					
債務負担設定						

(単位:千円)

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藤崎

【事業内容】	2年度予算額
3 変電所交流設備点検	

(1 事業目的・内容)
 グリーンライン各変電所の交流設備である、配電盤、遮断器、変圧器等について、各機器の動作、機能を維持するため、年次点検(1か年、2か年、3か年)を行います。
 2年度についても、グリーンライン全変電所(3か所)の交流設備の委託点検を実施します。

【点検委託を実施する変電所】

No.	変電所名	No.	変電所名	No.	変電所名
1	日吉本町	2	センター北	3	川和町

【点検内容】
 変電所1か年検査 : 変圧器外観点検、交流遮断器各種試験測定、アナログ型保護継電器特性試験 他
 変電所2か年検査 : 1か年検査の内容に加えて、気中キュービクル外観点検 他
 変電所3か年検査 : 1、2か年検査の内容に加えて、ガス絶縁開閉装置外観点検、デジタル型保護継電器特性試験 他

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	3,414					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
4 電力管理システム点検	

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは、総合司令所から、無人の変電所の機器の操作や制御、監視等を遠隔で行うための装置です。このシステムにより、グリーンラインの3変電所の制御や運転が正確に行え、列車の定時性確保に結び付いています。
本件は、グリーンラインの各変電所及び総合司令所に設置されている伝送装置、中央処理装置、制御端末等の点検を実施するものです。

	30年度(平成)	元年度	2年度
交換部品	電力系統盤(ランプ、ファン等) CPUモジュール 電源 PLCバッテリー	遠制IFSRV1用ハードディスク 遠制IFSRV2用ハードディスク WS1-1用ハードディスク WS1-2用ハードディスク SYS-WS用ハードディスク 大画面用ランプ WS2用ハードディスク WS4用ハードディスク WS3用ハードディスク	電源 CPUモジュール リチウム電池
交換場所	日吉本町、センター北、川和変電所 各10駅 川和車両基地	司令所 川和電気区 設備区	日吉本町、センター北、川和変電所 各10駅 川和車両基地
点検場所	14か所	3か所	14か所

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	1,750					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 変電所換気設備点検委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの各変電所に設置されている換気・空調設備について、定期点検保守を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適切な状態に維持管理します。

【業務の目的】

変電所内に設置されている受変電機器は、適切な周囲温度環境下で使用しないと寿命等に影響を及ぼすため、変電所内には換気設備や空調設備が設置されています。これらの換気設備等を常に良好な状態で使用するため保守委託を行います。

路線別台数	ブルーライン	グリーンライン	合計
換気設備	55台	14台	69台
空調設備	19台	3台	22台

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・横浜市高速鉄道電力設備整備心得
- ・フロン排出抑制法・・・十分な知見を有する者による点検の義務づけ

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	263					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
6 その他機器修理	1,843

(1 事業目的・内容)

変電所機器やそれらの監視制御を行う電力管理装置等(総合司令所設置)において、直営では対応できない故障が発生した場合に、機器の修理を委託し、列車や駅舎への電力供給が長時間に渡って支障することがないようにするものです。

【業務の目的】

突発的な故障に対して、迅速に対応し、変電所機器等の機能を正常に回復するものです。

【主な内容】 (29、30年度の修理実績)

年度	項目
29	4号線電力管理システム大画面装置修理
29	直流電源及び無停電電源装置修理
29	川和町及び日吉本町変電所非常停止回路不具合修理
29	川和町き電回路故障選択装置修理
30	センター北変電所主配電盤2系PLC装置修理

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	1,750	1,843				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
7 直流電源点検整備	

(1 事業目的・内容)

変電所機器の正常稼働を行うための制御用電源を給電する直流電源装置の性能維持、機器の正常稼働の確保を目的に、精密点検(3か年点検)を行います。

【令和2年度の主な内容】

令和2年度は、総合指令所(GL)について点検を実施します。

【前年度の主な内容】

令和元年度は、以下の5台について点検を実施しました。

①川和町変電所 ②川和町変電所(ガスタービン用) ③センター北変電所 ④日吉本町変電所 ⑤日吉本町変電所(ガスタービン用)

【令和2年度及び今後の計画】

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検数	1台	0台	5台	1台

【主な点検・整備項目】

- ・出力電圧波形観測
- ・シーケンステスト
- ・内部抵抗測定
- ・絶縁抵抗測定 などを実施

(2 前年度から変更・見直した点)

点検周期表による台数の変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	3,411					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
8 変電所機器点検整備(下飯田変電所ほか5か所)	

(1 事業目的・内容)

高速鉄道の各変電所において受電、配電、き電の各しゃ断器の細密点検(6か年検査)及び整流器、回生インバータのオーバーホール(15年毎)、並びに消耗部品の交換を実施し、各機器の正常な動作の維持を図ります。

業務効率化のため、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施する細密点検を一括して委託します。
令和2年度は、下飯田変電所、茅ヶ崎変電所の回生インバータの細密点検を実施します。

【主な点検内容】

実施年度	点検実施場所	点検機器
令和2年度	下飯田変電所※	回生インバータ
	茅ヶ崎変電所※	回生インバータ
令和3年度	片倉変電所※	60kV ガス遮断器
		20kV真空遮断器
		6kV真空遮断器
	横浜駅電気室※	高圧区分閉器
令和4年度	川和町変電所	変圧整流器
	日吉本町変電所	変圧整流器

※下飯田変電所、茅ヶ崎変電所、片倉変電所については変電所修繕費外注費(02.20.37.37.22)

※横浜駅については電路設備修繕費外注費(02.20.36.36.22)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	29,333					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 藤崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
9 直流き電回路故障選択装置基板更新	

(1 事業目的・内容)

直流き電回路故障選択装置(デルタアイ)は、電車走行用電力(き電)の事故を検出し、遮断器を開放させ電気の送電を停止させる重要な保護装置です。

本装置に使用している電気部品の中には経年劣化するものがあるため、これらの部品を搭載した基板の交換を実施し、装置としての延命化を図ります。

実施箇所は装置の稼働年数が10年以上であるセンター北変電所、川和町変電所、日吉本町変電所について実施します。

故障選択装置(演算部)



故障選択装置(出力回路基板)



【基板更新内容】

変電所名	基板更新箇所
センター北変電所	ΔIユニット、制御ユニット、プリンタユニット、電源部
川和町変電所	
日吉本町変電所	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	30	29	1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 変電所設備修繕費 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
<p style="margin-left: 40px;">変電所設備の部材を購入する費用。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	30	29	1

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 変電所設備修繕 部品材料 電気区	30
(1 事業目的・内容) 緊急の変電所設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金 30	
(2 前年度から変更・見直した点) 金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 37 変電所設備修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予算額	30	29	1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 変電所設備修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
緊急の変電所設備修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	1,080	46,073	△ 44,993

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	437

(1 事業目的・内容)

保守材料のうち、変電・電路・信号・通信に属さないもの、または係共通で必要となる材料・消耗品等の購入に必要な経費を計上します。

【主な購入予定材料】

- ・保守用自動車の保守部品
- ・軌道モーターカー用の保守材料・消耗品
- ・その他

(2 前年度から変更・見直した点)

材料購入時には在庫数の確認・流用、購入数の確認を行ない購入することで、余剰な材料を購入しないようにし、経費の削減に取り組んでいます。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	415	437	437	437	437	2,163
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 軌道モーターカー点検整備	

(1 事業目的・内容)

軌道用モーターカーは夜間の営業線内を走行するため、常に正常な機能・動作が求められます。このため毎年度、点検及び整備を実施し、列車運行に支障のない整備をします。

【主な業務内容】

電気用の軌道モーターカーはブルーライン全線で6台あり、全台を定期点検します。

【業務を実施する目的】

予防保全による車両の延命、安全な運行の確保
故障による重大事故の防止

【主な点検の内容】

○定期点検(点検項目)

燃料装置、潤滑装置、冷却装置、電気装置、動力伝達装置、エンジン、ブレーキ装置、転向装置、走行装置、緩衝装置、クレーン、その他

○定期点検(交換部品)

エンジンオイル、ブレーキオイル、オイルフィルターエレメント、スパークプラグ、エアエレメント、フェルフィルター

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・数量の変動はないが、更新による車種変動1台あり。(4t車→8t車)
- ・前年度と同様、定期点検の項目は自動車車検と同等の点検内容や消耗品の交換を行います。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・労働安全衛生規則第167条(定期自主検査)
- ・交通局保守用車両使用要領第28条(定期検査)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	1,330					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
--------	--------

3 計器校正その他修理

(1 事業目的・内容)

電気設備の保守業務で使用する、計測機器(精密級の電流計・電圧計等)の校正を行い、検査結果の信頼性を維持し、適切な設備保全を行います。

【目的】

保守管理の品質を向上させることで、施設の保全性、安全性が向上し、旅客輸送の安全確保に繋がります。

【内訳】

	数量
校正計器	12台

(2 前年度から変更・見直した点)

・前年度に比較して、校正周期により、対象計器の種類に変動があります。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・計測器管理標準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	535					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費 節・細節：39 その他修繕費	所属：電気課 担当者：府馬

(単位：千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
4 1・3号線可動式ホーム柵保守業務委託	

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また、車両の戸挟みによるひきずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を介して車両と通信し、車両ドアと連動した開閉を行う装置です。

平成19年度のワンマン運転化に伴い、今まで毎年20件程度発生していたお客様の転落事故が平成20年度以降は0件となっています。

対象設備：可動式ホーム柵本体・総合制御盤・駅係員操作盤・乗務員操作盤・個別操作盤・駅務室監視盤

これら各設備の6ヶ月検査と1か年検査を実施し、予防保全によりホーム柵の安定動作と列車の安全運行を確保します。また、故障が発生した場合に速やかな復旧を行うため、オンコール保守作業を行います。

※ R1年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品(外注委託)

※ **R2年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品(外注委託)**

※ R3年度：全駅6か月検査、1か年検査、オンコール保守、定期交換部品(外注委託)

○内訳

項 目	単価	数量	単位	積算額	備 考
可動式ホーム柵6ヶ月検査		32	駅		
可動式ホーム柵1か年検査		32	駅		
オンコール保守作業		1	式		
交換部品		1	式		LMガイド
諸経費		1	式		
合計(税込)					

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度からの変更はありません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術基準第58条(自動運転するための装置)
横浜市高速鉄道運転保安設備実施基準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	43,441					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事業内容 】	2年度予算額
5 その他機器修理	643

(1 事業目的・内容)

保守で、変電・電路・信号・通信に属さないものまたは共通の設備に関して起こった、故障等に対する修理の費用です。
電気区のモーターカーは半数が製造から20年を経過し老朽化が進んでいます。そのため修理発生頻度が増加傾向にあります。
過去の修理状況を踏まえた計上をしました。

【主な修理内容】(過去の主な修理の実績)

- R元年度の修理案件は9月現在で以下の通り
- 軌道モーターカー(3号車)ブレーキマスターシリンダー修理
- 軌道モーターカー(11号車)オイル漏れ修理
- 軌道モーターカー(3号車)オイル漏れ修理
- 軌道モーターカー(6号車)ブレーキマスターシリンダー修理
- 軌道モーターカー(11号車)オイル漏れ修理(その2)

【課題と目標】

軌道モーターカーの健全性を確保し、効率的な保守作業を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

軌道モーターカーの修理が増えているため、今年度実績に合わせる。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	352	643				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	608	22,417	△ 21,809

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 材料費	89

(1 事業目的・内容)

保守材料のうち、変電・電路・信号・通信に属さないもの、または係共通で必要となる材料・消耗品等の購入に必要な経費を計上します。

【主な購入予定材料】

- ・保守用自動車の保守部品
- ・軌道モーターカー用の保守材料・消耗品
- ・その他

(2 前年度から変更・見直した点)

材料購入時には在庫数の確認・流用、購入数の確認を行ない購入することで、余分な材料を購入しないようにしています。今後も、経費の削減に努めていきます。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	85	89	89	89	89	441
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 軌道モーターカー点検整備	

(1 事業目的・内容)

軌道用モーターカーは夜間の営業線内を走行するため、常に正常な機能・動作が求められます。このため毎年度、点検及び整備を実施し、列車運行に支障のない整備をします。

【主な業務内容】

電気用の軌道モーターカーはグリーンライン全線で2台あり、全台を定期点検します。

【業務を実施する目的】

予防保全による車両の延命、安全な運行の確保
故障による重大事故の防止

【主な点検の内容】

○定期点検(点検項目)

燃料装置、潤滑装置、冷却装置、電気装置、動力伝達装置、エンジン、ブレーキ装置、転向装置、走行装置、緩衝装置、その他

○定期点検(交換部品)

エンジンオイル、ブレーキオイル、オイルフィルターエレメント、スパークプラグ、エアエレメント、フューエルフィルター

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・定期点検の項目は、前年度と同様自動車車検と同等の点検内容や消耗品の交換を行います。
- ・前年度の軌道モーターカー1台、トロ1台の車輪交換が無くなりました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・労働安全衛生規則第167条(定期自主検査)
- ・交通局保守用車両使用要領第28条(定期検査)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事業費	10,650					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
3 計器校正その他修理	

(1 事業目的・内容)

電気設備の保守業務で使用する、計測機器(精密級の電流計・電圧計等)の校正を行い、検査結果の信頼性を維持し、適切な設備保全を行います。

【目的】

保守管理の品質を向上させることで、施設の保全性、安全性が向上し、旅客輸送の安全確保に繋がります。

【内訳】

	数量
校正計器	3台

(2 前年度から変更・見直した点)

・前年度に比較して、校正周期により、対象計器の種類に変動があります。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・計測器管理標準

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	36					
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 電気課 担当者: 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
5 その他機器修理	519

(1 事業目的・内容)

保守で、変電・電路・信号・通信に属さないものまたは共通の設備に関して起こった、故障等に対する修理の費用です。
過去の修理状況を踏まえた計上をしました。

【主な修理内容】(過去の主な修理の実績)

R元年度の修理案件は9月現在で以下の通り

軌道モーターカー(9号車)オイル漏れ修理

軌道モーターカー(9号車)天井雨漏りほか修理

【課題と目標】

軌道モーターカーの健全性を確保し、効率的な保守作業を行います。

軌道モーターカー9号車は製造から13年目だが、グリーンライン建設初期から使用しているため稼働時間は長く、修理の頻度が多くなってい

(2 前年度から変更・見直した点)

軌道モーターカーの修理が増えているため、今年度実績に合わせる。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	元年度予算	2年度予算	3年度予定	4年度予定	5年度以降	総 額
事 業 費	273	519				
債務負担設定						

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 上永谷保守管理所	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 平塚、坪井	

(単位: 千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		305	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 上永谷電気区庁用車 材料費	30
(1 事業目的・内容)	
<p>庁用車の部品を購入する費用。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 上永谷電気区庁用車 車検・法定点検	
(1 事業目的・内容) 応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。 ・国土交通省令に基づく点検 車検及び法定点検 3台(応急車2台・庁用車1台)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
3 上永谷電気区庁用車 修理費	100
(1 事業目的・内容) 庁用車を修理する費用。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 新羽保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 本間

(単位:千円)

	2年度A	元年度B	増減(A-B)
予 算 額	385	334	51

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
1 自動車点検整備 電気区	30
(1 事業目的・内容)	
緊急の自動車整備に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金	30
(2 前年度から変更・見直した点)	
金額をH30と同額に変更	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)	
前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 自動車点検整備 電気区	270

(1) 事業目的・内容)

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計
キャラバン 800ち8423	1年				
エブリイ(軽自動車)480ち7580	2年				
合 計					270

(2) 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、「現場の意見」等)

応急車点検整備＝道路運送車両法(第62条)に基づく継続検査

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 本間

(単位: 千円)

【事業内容】	2年度予算額				
3 自動車修理 電気区	85				
(1 事業目的・内容)					
<table border="1"><thead><tr><th>自動車修理</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>自動車修理 随時</td><td>85</td></tr></tbody></table>		自動車修理	計	自動車修理 随時	85
自動車修理	計				
自動車修理 随時	85				
(2 前年度から変更・見直した点)					
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)					

令和2年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 20 電路保存費	所属: 川和保守管理所	
節・細節: 39 その他修繕費			担当者: 今野・阿部	

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	490	557	△ 67

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	2年度予算額
1 その他修繕 部品材料	30
(1 事業目的・内容)	
緊急のその他修繕に必要な部品・材料を購入するための小額物品費	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
局の小額物品制度による	

令和2年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 20 電路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 川和保守管理所 担当者: 今野・阿部

(単位:千円)

【事業内容】	2年度予算額
2 自動車点検整備・修理	460
(1 事業目的・内容)	
庁用車について、法令に基づく車両検査や法定点検の実施及び故障修理に必要な費用	
保有庁用車	
・ADバン(400ふ6188)	
・ハイエース(800つ307)	
・エブリイ(480す6230)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和2年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：20 電路保存費	所属：川和保守管理所 担当者名：今野・阿部

(単位:千円)

	2年度 A	元年度 B	増△減 A - B	
予算額		7,106		ブルーライン ○ グリーンライン 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂糸屑費	348	軽油、ウェス等
45 自動車燃料費		庁用車の燃料
49 備用品費	2,112	小額物品、共通物品、工具等
51 光熱水費	665	水道代
56 旅費	498	出張旅費
57 通信運搬費	233	電話料金、切手代等
63 委託料	875	建物清掃委託、産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	1,141	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	690	寝具及び複写機賃借料
68 保険料	267	庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	22	庁用車自動車重量税
96 雑費	50	有料駐車場代
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)